

## TIC 案内業務事例

【 「V」 通信 466号 2020年3月13日 】

オーストラリア 男性 1名 30代

Q:長野までの新幹線料金、白馬から京都までのアクセス方法、マリオカートの予約

A:長野までの新幹線料金について、「(ご自身が)ネットで調べたものと、駅で聞いたものが違っていただけどうしてか？」との問合せ。訪日旅行客から時々受ける質問なのだが、新幹線の乗車券と特急券について説明。彼は恐らく乗車券代金のみを見ていたと思われ、説明すると納得された。長野からはバスで白馬へ移動し、スキーを楽しまれるとのこと。雪不足の影響によるオープン状況が気になったので念の為、確認したが、彼が行く予定の「hakuba47」は全面滑走オープンであった。白馬の後は京都へ行くとのことだったが、日程はフレキシブルな様子。「夜行バスでダイレクトに行くことも可能だが、電車を利用して糸魚川、富山、金沢、福井を経由するルートや、松本、中津川、名古屋を経由するルートで立ち寄りながら観光を楽しんでみてはどうか？」とも提案。するとちょうど隣にいたイギリス人の来訪者が会話を聞いていたようで、その方のお勧め観光地を伝え出し、そのオーストラリア人の訪日客も参考にするようだった。「最後に東京滞在中、マリオカートを体験したい」と要望。お客様の言うところのマリオカートは、公道カート、「ストリートカート東京ベイ」のことで、国際免許証の有無を確認のうえ、予約詳細を案内した。

公道カート東京ベイ: <https://kart.st/jp/tokyobay.html>

ドイツ 男性 1名 30代

Q:熊野古道を歩きたい

A:通常 2泊3日 で中辺路のメインルート(紀伊田辺から本宮大社へ)を歩きたいと話す利用者が多いが、今回は三重県側の伊勢路を歩き、最終的には紀伊半島西部の田辺市まで走破したいとのことであった。まずは名古屋から鉄道を利用して紀伊半島を南下し、国道42号線沿いの伊勢路から歩き始める計画とのこと。三重県側の古道もよく整備されていることから、尾鷲市、熊野市から新宮に至り、熊野速玉大社、熊野那智大社を参観する。熊野那智大社付近にある青岸渡寺や、滝壺の深さが10mと落差日本一の名瀑である那智の滝も併せて案内。さらにそこから中辺路の大雲取越ルートを取って小口自然の家で1泊(ここは事前に宿泊予約が必要だが、すでに手配済み)し、翌日小雲取越を歩いて熊野本宮に到達して、川湯温泉の宿に宿泊。さらに中辺路の主要ルートを取って近露王子に1泊し、滝尻王子を経由して紀伊田辺市内に至る旅程を考えている。要所の宿泊はすでに予約しているとのことだが、移動距離が長いこともあり、各地の観光案内所にて常時最新情報を入手しながら行動するようにアドバイス。地図にて各ルートを確認の上、関係資料を提供した。その男性は、各ルートの自然を楽しみながら、何とか走破したいと意気込んでいた。

熊野古道伊勢路: <http://www.kodo.pref.mie.lg.jp/>

小口自然の家: <https://www.shinguu.jp/spots/detail/B0034>

フィリピン 女性 1名 30代(在住)

Q:青森、北海道の観光について

A:周辺就業者がランチタイムに来所し、3泊4日で青森もしくは北海道の観光を考えているとのこと。青森の奥入瀬溪流、五能線、不老不死温泉等を案内していると、パンフレットに載っていた田んぼアートの写真に興味を示された。その写真は南津軽郡田舎館村田んぼアートで、今はその時期ではなく、観覧期間は会場によるが4、5月頃～10月初旬。観覧場所である第1田んぼアートは、田舎館村役場庁舎内にある田舎館村展望台、第2田んぼアートは道の駅いなかだて「弥生の里」敷地内にある弥生の里展望所。第1エリアと第2エリア間は無料シャトルバスが運行する。また、北海道の雪まつりにも興味があるとのこと、今年の開催期間は2月4日～2月11日、つどーむ会場に関しては1月31日～2月11日と案内。話を伺ううちに、スキーも好きで、スキー旅行も気になっていることがわかった。ニセコやルスツ、八甲田、安比高原等を紹介した。新潟や長野のスキー場には良く行っているらしいが、来日して初めてスキーをしたのが蔵王温泉スキー場で、東北には思い入れがあるとのことだった。実際に訪れる時期もまだ確定していないそうで、どの候補地も魅力的で迷うとのこと。もう少しご自身で旅程を検討することになった。雪まつりについては、もし訪れるのであれば、急ぎ手配をするように伝えた。

田舎館村田んぼアート: <http://www.inakadate-tanboart.net/>